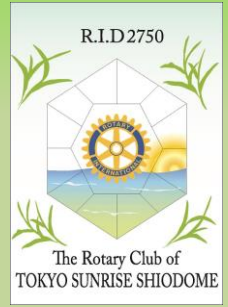


◆ WEEKLY REPORT ◆



インスピレーションになろう
R.I.会長 バリー・ラシン

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



2018-19年度 会長 立堀佳男
クラブテーマ「親睦・奉仕を通じて友人・仲間・同志を作ろう」

No.159 30. Aug. 2018 発行

第154回 例会

【日時】2018年8月23日(木) 12:30~13:30 【例会場】ザ ロイヤルパークホテル 東京汐留
【例会出席】会員数 16名 名誉会員2名 【出席者】12名 ビジター 0名 ゲスト 0名
【出席率】75.0%
【ニコニコBOX】¥ 8,000— ≪今年度累計≫ ¥ 61,500—

≪プログラム≫

- 司 会：市川康弘会員
立堀佳男会長
梅澤武男ソングリーダー
立堀佳男会長
- ◇ 開会点鐘
- ◇ 斉唱：「それでこそロータリー」
- ◇ 会長挨拶
ほぼチューク行きの予定が決まりました。参加の方よろしくお願ひします。それと、友弘さんに誘われまして武蔵府中 RC の例会に出席して来ました。前猿渡ガバナーが宮司の格好をして顔を出されていました。エアコンの調子が悪く、めったにないのですが風邪をひいてしまいました。皆さんお気を付け下さい。
- ◇ 幹事報告 工藤至善幹事
チューク行きの日程がほぼ決定しました。何かご不明点がございましたら、会長・幹事までお願ひします。直行便パターンとトランジットパターンがありますので、ご確認をお願ひします。
- ◇ 委員会報告
湯川愛里会員：来月予定の親睦旅行ですが、先月の夜間例会が流れてしまったのでその日に夜間例会を設定したいと思います。よろしくお願ひします。
- ◇ 出席報告 鹿島孝夫会員
- ◇ ニコニコボックス発表(敬称略) 湯川愛里会員
立堀佳男：遅い夏休みを25日(土)から取ります。9日間リフレッシュします。飲みすぎに注意しないと…
梅澤武男：残暑お見舞い申し上げます。
湯川愛里：9日の夜間例会が台風で流れてしまったため、長いお盆休みとなりました。まだ猛暑が続きますが、秋を迎えるまでもう少しの辛抱です。
戸張浩幸：日本にはダブル台風が来ていますが、今年はハワイにもハリケーンが来ていてとても珍しいようです。
熊谷行裕：本日卓話です。皆さんよろしくお願ひします。また地震予知の続きですが、火山の予知にも使えそうな話をします。さらに、丁度大きな地震が迫っている危ないデータが出ているので、それもお話します。

◆ 会長：立堀佳男 ◆ 幹事：工藤至善 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】立堀佳男
【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテル東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196
【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

◇ 卓話『地震予知の最近の状況について』

熊谷行裕会員

2010年に起こったハイチの大地震で国際RC会長のラシン氏が活躍された話が『ロータリーの友』7月号に掲載されていました。ラシン氏はバハマにお住まいで、地震が起きたのはハバナという別の場所でしたが、沢山の方を助けたという事でした。M7.0というかなり大きな直下型地震で被害は甚大でした。31万人の死者が出て(東日本大震災は2万人)暴徒化する市民が出たり、多くの建物が倒壊しました。その中でもお金持ちの大きな家がつぶれていることが多く、天井・床が重なって潰れるパンケーキクラッシュが起きていたそうです。ラシン会長のお言葉です。「彼らと私達、被災を逃れた私たちと逃れられなかった人々とを隔てる線は何もないこと、何の境界線もないことに気付かされました。私達が被災していたかもしれないのです」ここで、このような被害が出る前に何か対策は出来なかったものかと思うわけですが、予兆が無かったわけでは有りません。この地震を分析された琉球大学の木村政昭先生が発表されたもので、「ドーナツ現象」と言われているものがありまして、大きな地震の震源域には大した事象発生は無く、その周りに大きな地震が来るのだという考え方で、これが起きていたと考えられるそうです。もう一つ他に、過去の発生地震のデータを見ていくと、大きく回数が増えた後、直前に頻度が下がるというデータがあり、この二つを上手く組み合わせると場所と頻度をプロットしていけば次に起こる大きな地震の空白地帯のようなものが分かる場合があるという事をおっしゃっています。私達が電磁波でやっているデータも震源域の真上で電磁波が出るのではなく、周りに圧力が掛かっていて、最後に動く所に被害が出るという事を考えると私たちのデータとも重なります。これを「傷ついたゴムボール理論」という風にお伝えしています。地震の目のようなものが分かれば震源がはっきり分かってくるかと思っています。次に火山の噴火で被害が出るケースがありますが、以前からマグマが動くとき電磁波が出る事は分かっていたのですが、我々のデータにもそれらしきものが出ていました。御嶽山が噴火した際異常データが出た日と火山性地震のピークの日が重なっていました。現在の火山の観測は周りから見えるもののみで、内部に関しては無いそうです。我々のデータが火山の噴火にも役に立つのではと思っています。



熊谷行裕会員



図5は、マグニチュード3以上の地震をプロットしたものです。今回の本震が地震の「目」の近傍で発生したとれるパターンを示していることが見てとれます。「目」の大きさは、マグニチュード7以上の地震の発生が予測されます
木村政昭先生のHPより

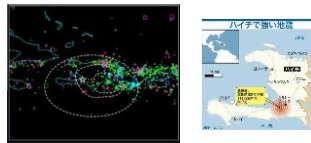
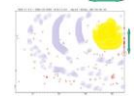


図5: M2.3 ☆ 2010年本震 (M7.3)

ドーナツ現象 Doughnuts pattern

Before big earthquake happened, in some case, smaller earthquakes happened many times. This is called Donuts pattern, in Japan. For instance, in 1978 (Shimane near Oki I.), small earthquakes happened from half year before surrounded blank center, and main earthquake was happened in the center area, others 1923 (Kanto), 1894 (Tokyo), 1959 (Iwate south), 1909 offshore Chubu, 1921 (Iwate) south in Japan.

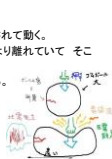
地震の前兆現象は 震源をとりまくドーナツ状に出ることが多い
Blank area



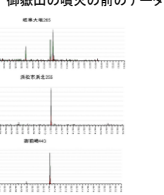
Many earthquakes area (東大 茂木先生の考え)

傷ついたゴムボール理論 03

- ・ いままで前兆としての電磁波ノイズは震源周辺、断層近くが最も大きい、と考えていた。
- ・ 大きい地震の前兆だから電磁波も大きく、遠方まで電磁波ノイズが届くと考えた。
- ・ しかし断層はそれ自体では動けない、押されて動く。
- ・ 地中が強く押される場所は、断層や震源より離れていて、そこから電磁波が出る。
- ・ 最後に弱い断層がずれて地震が発生する。
- ・ 中小規模の地震はこの間が近い。
- ・ 震源と電磁波の発生場所が同じように見えていた。



電磁波と火山噴火の関係



異常データの出た観測点の位置関係



地震災害を減らすため、日本中に装置を普及させ、予知情報を発信し被害を減らしたい

◇ 講評

大変興味のある話でした。有難うございました。先日読んだ本で、海底火山が爆発してしまいが出来た時誰の物かという内容で、発見した国のものというのが基本だそうですが、日本では演習をやる事を盾に早く噴火させて自国のものとするという内容でした。大変面白かったです。

立堀佳男会長

◇ 閉会の点鐘

立堀佳男会長

《今後の主な行事予定》

- ◇ 10月18日 移動例会 4周年記念親睦旅行

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 8月30日 休会
- ◇ 9月 6日 12:30~13:30
- ◇ 9月13日 12:30~13:30
- ◇ 9月20日 休会